

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）各年4月1日	35,834	36,994	38,314	人	-
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したもの（千葉県健康福祉部）※値はR1、R2、R3年のもの	1.59(※)	1.55(※)	1.56(※)		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	59.8	69.6	65.4	%	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 新たな児童センターとして南流山児童センターを令和4年12月に開設しました。子どもの居場所づくりと子育て家庭をサポートする環境の充実を図りました。安心して子育てができるよう児童手当等の定められた経済支援を適正かつ正確に行いました。また、ひとり親家庭等に対して、自立した生活を送るために必要な情報提供及びサポートを行いました。児童虐待やDV防止対策等における相談体制の充実を図りました。</p> <p>・評価 令和4年4月1日現在、国基準で待機児童は3名となりました。保育所整備では、概ね予定どおり整備を行いました。令和4年12月に南流山児童センターを開設し、子どもの居場所づくりと子育て家庭をサポートする環境の充実を図りました。児童虐待の発見や支援につながるよう、関係機関の会議や研修会に参加し、共通認識を深めました。</p> <p>・改善点 南流山児童センター内に、子育て相談室を開設し、妊娠・妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない相談体制を整備しました。また、出産・子育て応援給付金事業を新たに実施し、すべての妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てが行えるよう、伴走型の相談支援と経済的支援として、妊娠・出産の届出をし、面談をされた方に、それぞれ5万円の給付金を支給する事業をスタートしました。</p>	<p>・現状 18歳未満人口は、令和4年4月時点で38,314人と対前年度1,320人増となりました。保育所整備は、認可保育所3箇所を整備する予定です。児童虐待の相談件数は、引き続き増加傾向が続いています。</p> <p>・課題 子育て世帯の増加などにより、保育需要は増加すると見込まれます。妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のないサポート環境の充実と、地域ぐるみで子育てをサポートする体制づくりが必要です。増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。</p> <p>・取組内容 子育てサポート体制の一環として「第2期子どもをみんなで育む計画」の改定に向けては、「こども基本法」（令和5年4月1日施行）を踏まえて、子どもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させるための取組を進めていきます。児童虐待やDV防止対策等における相談体制の充実及び関係機関との連携強化を図っていきます。</p>

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

児童館・児童センター整備事業	児童の健全な遊びの場を提供するため、令和4年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に、子育て支援施設（児童センター及び子育て世代活動支援センター）を整備します。なお、同施設に一体の複合施設として地域図書館を整備します。（令和3年度：建設工事/令和4年度：建設工事）						
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
子ども家庭課	123,260	123,260	12,764	0	0	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
おおたかの森児童センター整備工事進捗率(%)	-	-	-				
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)	67	100	-				
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 令和4年12月施設開館に向け、事故等の無いよう円滑な工事進捗を図りました。</p> <p>・評価 令和4年12月1日に、流山市立南流山地域図書館・流山市南流山児童センターが開館しました。</p> <p>・課題に対する改善点 各種中学校行事への影響を限りなく少なく出来るよう努めました。</p>	<p>・現状 令和4年度で事業が終了しました。</p> <p>・課題 令和4年度で事業が終了しました。</p> <p>・取組 令和4年度で事業が終了しました。</p>						

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

ファミリーサポートセンター支援事業	ひとり親家庭等の就労の支援および育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その利用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
子ども家庭課	18,588	18,588	4,247	19,090	11,800	7,290	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
ファミリー・サポート・センターの利用件数(件)	7,579	6,867	7,000				
ファミリー・サポート・センターの登録者数(人)	2,253	2,330	2,400				
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 令和4年度からは、郵送でも取り扱えるように、ホームページ等に掲載して対応しました。</p> <p>・評価 ホームページ等で郵送の取り扱いを周知し、申請を受け付けることで、利用者の負担減を図ることができました。</p> <p>・課題に対する改善点 ファミリー・サポート・センター利用助成の登録申請は、窓口のみでの対応していましたが、多子養育者等からは子どもを連れての申請は負担であるとの声があります。</p>	<p>・現状 令和5年度も、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者、未就学児2人以上の多胎児を養育する方を対象に、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成します。</p> <p>・課題 利用助成の請求については、利用後1年以内の請求としていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があります。</p> <p>・取組 登録者を対象に、請求書の出し忘れ等に関する通知を送付します。</p>						

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

子ども医療費助成事業	保護者の経済的負担の軽減を図るため、本年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生から高校3年生までに拡充します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	949,827		1,009,908		12,764	1,086,956	372,390	714,566
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
子ども医療扶助の額(千円)	842,107	968,847	1,038,632	子育て支援サービスにより、子育ての不安や負担が軽減されていると感じますか(%)		71.30	65.20	70.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 保護者の経済的負担の軽減を図るため、中学校3年生までの子どもの医療費を助成しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 保護者の経済的負担の軽減を図るため、本年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生から高校3年生までに拡充します。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 対象となる保護者に対して、適正に助成を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 新たに助成を開始する高校3年生までの対象者に対して、適正に給付するよう規則改正をはじめシステム改修、償還払い、現物給付などの流れ等を確認する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 市民、議会から、助成の対象年齢を拡大する内容の要望が多く寄せられていたが、令和5年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生から高校3年生までに拡充することとしました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 課題にあげた内容について、関係部署や関係機関との協議を行い、8月から対象を拡充した内容で適正に助成を行っていきます。				

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

育児支援サービス事業	親族等から産前産後のサポートが受けられない妊産婦を対象に、市が委託する事業者が行う12時間分の育児支援や家事支援を自己負担なしで提供することにより、妊産婦の心身の負担の軽減を図るとともに、安心して出産及び育児ができる環境を確保するものです。(※組織改編による事業見直しにより、令和5年度より単独の事業となりました。)							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	56,126		0		0	6,190	2,106	4,084
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
申請者数(人)	-	278	300	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.70	93.40	94.00
延べ利用時間(時間)	-	1,470	1,500					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和5年度から単独事業				<ul style="list-style-type: none"> 現状 新型コロナウイルス感染症の影響や近くに親族がない等の理由により、産前産後に家族等からの支援が受けられず、産後の生活に不安を抱く妊産婦が増えています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和5年度から単独事業				<ul style="list-style-type: none"> 課題 妊娠早期から産後の生活に不安を抱く妊婦が増加しており、産後からの支援ではなく、妊娠中から産後の生活の不安軽減に向けての支援を行っていく必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 令和5年度から単独事業				<ul style="list-style-type: none"> 取組 母子健康手帳交付時の面談で全妊婦に対して事業を周知するとともに、家族からのサポートが得られず不安を抱えている妊産婦に対しては、事前の申し込みを促し、必要時に速やかに本事業を利用できるよう案内していきます。また、市からの支援が必要と思われる妊産婦がいた場合は、委託事業者と情報共有して早期に介入できるように努めていきます。				

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

子どもをみんなで育む計画推進事業	子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の策定された各種施策を推進し、本市における子ども子育て支援の一層の推進を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	1,101		1,101		19,146	8,408	1,500	6,908
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 第2期子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の見直しを行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 第2期子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の見直しに掲げている各種施策を推進し、子育て支援の充実に努めます。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和4年12月に、第2期子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の見直し版が完成しました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 第3期子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の策定にあたり、ニーズ調査や子どもの生活実態調査を実施する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 計画を策定する中で、子ども・子育て会議を円滑に進めることができ、期間内に見直し版を完成させることができました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 ニーズ調査や子どもの生活実態調査と合わせて、子どもや若者の意見を聴取する仕組みづくりの構築に努めます。				

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

妊娠・出産・子育てサポート事業	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援プランをもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、支援を行います。各種事業を実施することで、子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図ります。（※組織改編による事業内容の見直しを行い、再編している。）							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与と費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	0		47,889		55,229	257,354	33,390	223,964
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
妊婦面談率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.00	93.40	94.00
				育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		82.00	76.43	78.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>母子健康手帳交付時に専門職による面談を行い、妊娠早期からの情報提供や支援の必要な方の把握に努めました。令和4年度から「育児支援等サービス事業」を開始し、産前産後に家族等からの支援が得られず不安を抱える妊産婦への家事及び育児支援等のサービスの提供を実施しました。また、南流山センター内に新たに子育てなんでも相談室を開設しました。</p>				<p>・現状</p> <p>妊娠期からの切れ目のない支援の中で、母子健康手帳交付時面談を始め、各種事業等の妊産婦と接する機会をとらえ、その都度状況把握や困り事などの確認によりアセスメントをしていることから、支援を要すると思われる妊産婦の増加が見られます。</p>				
<p>・評価</p> <p>母子健康手帳交付時面談100%を実施し、妊婦の状況把握や必要な情報提供および支援を早期に実施しました。育児支援等サービス事業の実施により、産前産後に妊産婦の身体的・心理的負担軽減を図ることができました。南流山センター内に子育てなんでも相談室を開設し、より身近で相談に応じることで支援体制の強化を図りました。</p>				<p>・課題</p> <p>支援を要する妊産婦は、産前産後のサポート不足や、周囲に知り合いのいない孤立感、初めての育児に対する不安感など様々な理由により、支援が必要となっていることから、個々の状況に応じた社会的資源の提供や支援が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>支援を要する妊産婦が増加しているため、個々の状況に応じた支援を提供し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、妊娠期からの切れ目のない支援体制の更なる強化が必要です。</p>				<p>・取組</p> <p>身近な相談先である保健センターと南流山センター内の子育てなんでも相談室が、支援を必要とする方への対応が早急にできるよう、関係機関とも連携し更なる支援体制の強化を図ります。</p>				

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

出産・子育て応援給付金事業(子ども家庭課)	令和4年度第2次補正予算の閣議決定により、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行うことを目的とした「出産・子育て応援給付金」が創設されたことに伴い、妊婦等に対し、合計10万円相当の経済的支援を行うもの。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与と費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	0		256,211		12,764	305,650	265,310	40,340
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
出産・子育て応援給付金扶助費の額(千円)	-	1,450	240,000	子育て支援サービスにより、子育ての不安や負担が軽減されていると感じますか。(%)		71.30	65.20	70.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和4年4月以降に、妊娠・出産の届出をし、面談された方に対して、それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を支給しました。</p>				<p>・現状</p> <p>安心して、妊娠や子育て世帯が安心して出産・子育てが行えるよう、伴走型の相談支援とともに、妊娠・出産の届出をし、面談された方に対して、それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を支給しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>申請者に対して、適正に「出産・子育て応援給付金」の支給を行いました。</p>				<p>・課題</p> <p>健康福祉部と役割分担をして事業を進めていますが、今後も関係各課等と密に連携を図りながら事業を進めていく必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>当該事業については、健康福祉部と役割分担をし、連携を図りながら、伴走型の相談支援とともに給付金の事業を進めました。今後も関係各課等と密に連携を図りながら事業を進めていく必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>妊娠・出産の届出をし、面談された方に対して、それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を適正かつ迅速に支給します。</p>				

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

出産・子育て応援給付金事業(健康増進課)	全ての妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境整備を目的に、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与と費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	0		4,429		56,203	16,459	13,030	3,429
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
母子健康手帳交付時面談実施率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.66	93.40	94.00
妊娠7・8か月時アンケート回収率(%)	-	56.93	80.00					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和5年3月1日を事業開始日とし、遡及対象者を始め、伴走型相談支援の対象者への通知や支援が速やかに行えるよう、給付を担当する子ども家庭課と連携し、母子健康手帳交付時に給付金の申請書の配布や、妊娠7・8か月の妊婦へのアンケートの送付など、妊産婦への伴走型相談支援を開始しました。</p>				<p>・現状</p> <p>遡及対象者への申請書等の送付は終了しました。令和5年3月1日以降は、母子健康手帳交付時や出産後の訪問時に申請書を配布しています。また、妊娠7・8か月の妊婦へのアンケートの送付も開始しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>遡及対象者への通知を3回に分けて送付することで、転出入の状況や、出産直後の方等の対象者に適した内容のものを通知することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>妊娠7・8か月のアンケート送付により、妊婦の産前の状況を把握する機会が増えたため、妊婦のニーズを適切に把握し、個々の状況に応じた支援を開始していく必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>「伴走型相談支援」と「出産・子育て応援給付金」を組み合わせる形で、全ての妊婦・子育て世帯のニーズに即した効果的な支援となるよう、確実に支援が必要な世帯に対し、早期に支援を開始していく必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>新たに開始した、妊娠7・8か月アンケートにより、出産前から支援の必要な方を把握し、早期に介入することで、安心して出産・子育てを迎えられるよう支援していきます。</p>				

保育サービスの充実		主管課：子ども家庭課、保育課						
送迎保育ステーション事業	流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
保育課	100,453		100,454		2,553	96,212	47,169	49,043
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)	2	2	2	延べ利用数(人)		13,546	14,571	17,000
送迎バスの台数(台)	8	8	8	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		3	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 昨年と同様に、市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎しました。				・現状 待機児童については低い水準を維持しておりますが、本事業が無ければ保育施設への通所が難しい児童は存在しているため、引き続き事業が必要です。				
・評価 新型コロナウイルス感染症対策に努め、陽性者が出た場合は速やかに運行を休止し、安全に配慮した上で、保護者の送迎における負担軽減に努めました。				・課題 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらの児童の安全な移送の確保が課題となります。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらの児童の安全な移送の確保が課題となります。				・取組 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。				

保育サービスの充実		主管課：子ども家庭課、保育課						
病児保育事業	保育所等に通所中の児童が、病氣中・病氣回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
保育課	56,505		83,512		2,553	65,257	28,530	36,727
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
病児及び病後児保育実施園数(園)	4	3	3	利用者数(年度ごと延人数)(人)		72	173	200
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 感染症を拡大することなく、かつ可能な限り多くの方が利用できるような預かり条件について検討を行いました。				・現状 預かり対象については段階的に拡大しているものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準には至っていません。				
・評価 3施設で段階的に預かり対象を拡大し、利用者数を目標指標値に近づけることができました。				・課題 令和5年5月8日より新型コロナウイルスが第5類へ引き下げされることに伴い、預かり対象拡大について検討を行います。				
・課題に対する改善点 預かり対象については段階的に拡大しているものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準には至っていません。				・取組 預かり対象を拡大し、より多くの方が利用できるよう引き続き検討を行います。				

保育サービスの充実		主管課：子ども家庭課、保育課						
保育所改修事業	老朽化している公立保育所5施設の長寿命化と入所児童や職員が安全かつ快適に保育できるよう施設改修を実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
保育課	17,914		16,706		849	26,000	0	26,000
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
改修箇所数(箇所)	3	2	2	公立保育所利用者数(4月1日)(人)		521	509	600
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 中野久木保育所及び江戸川台保育所の空調機について、老朽化に伴う更新工事を実施しました。				・現状 平和台保育所及び向小金保育所の空調機について、設置から17年以上経過しています。				
・評価 中野久木保育所及び江戸川台保育所で安全かつ快適な保育が出来る環境整備が図られました。				・課題 老朽化した空調機の空調効率が悪くなっています。				
・課題に対する改善点 引き続き計画に沿って、老朽化した空調機の更新をしていきます。				・取組 空調機について、計画的に更新していきます。				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

私立保育所等運営補助事業	保育士の確保や保育の質の向上を図るため、私立保育所等を設置運営する社会福祉法人等に対し補助金を交付します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
保育課	2,585,658		2,576,343		29,750	2,537,445	639,878	1,897,567
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
補助施設数(件)	87	96	101	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		3	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 医療的ケア児保育支援事業補助金を新設し、医療を要する状態にある児童を保育所等が受け入れられる体制整備の構築を図りました。				<p>・現状</p> 送迎用バスの安全装置の設置を推進します。				
<p>・評価</p> 医療的ケア児が私立保育所等の利用を希望する場合に受入れが可能となるよう、私立保育所等の体制を整備するために必要な経費に係る補助金を新設しました。				<p>・課題</p> 送迎用バスに安全装置の設置を支援する体制整備の構築が必要です。				
<p>・課題に対する改善点</p> 引き続き保育所等と連携し、医療的ケア児の保育の支援に努めていきます。				<p>・取組</p> 保育所等と連携し、送迎用バスに安全装置を速やかに設置できるようにします。				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

私立保育所整備補助事業	待機児童の解消を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	972,627		479,080		19,146	828,434	591,551	236,883
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
整備箇所数(か所)	8	2	3	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		3	-	-
整備により増加した定員数(人)	740	135	210					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めました。				<p>・現状</p> 待機児童の解消を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助しています。				
<p>・評価</p> 市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助しました。				<p>・課題</p> 多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 多様な保育ニーズに対応するため、医療的ケア児を受け入れることが出来る認可保育所の整備を行いました。				<p>・取組</p> 質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めます。				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

小規模保育事業所整備補助事業	多様な保育ニーズにきめ細かく対応するため、市内に定員19名以内の小規模保育事業所を整備する事業者に対して、費用の一部を補助します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	26,890		0		0	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
整備箇所数(か所)	1	-	-	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		3	-	-
整備により増加した定員数(人)	18	-	-					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 令和4年度は、保育ニーズ等の状況から、小規模保育事業所の整備は行いませんでした。				<p>・現状</p> 令和5年度も引き続き、小規模保育事業所の整備は実施しない予定です。				
<p>・評価</p> 小規模保育事業所の整備は行っていないが、待機児童がゼロになりました。				<p>・課題</p> 令和5年度も引き続き、小規模保育事業所の整備は実施しない予定です。				
<p>・課題に対する改善点</p> 保育ニーズをしっかりと把握することで、小規模保育事業所の整備は行わずに、待機児童がゼロになりました。				<p>・取組</p> 令和5年度も引き続き、小規模保育事業所の整備は実施しない予定です。				

学童クラブの充実		主管課：教育総務課、学校施設課						
学童保育運営事業	就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
教育総務課	162,146		123,293		9,995	189,889	109,773	80,116
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
研修開催件数(件)	1	2	2	学童クラブの延べ利用人数(人)		28,934	33,638	38,000
				放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		26,992	50,983	80,545
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、支援員の質の向上に努めました。				・現状 学童クラブの利用者は増え続けており、今後も入所希望が増加すると考えられます。				
・評価 研修を通して、支援員の学童クラブ運営に対する知識や技術を深めることが出来ました。キャリアアップ処遇改善事業と臨時特例処遇改善事業により、職員の賃金改善を行うことが出来ました。				・課題 支援員が抱える現場の課題は多く、更なる研修の必要があります。また、支援員の安定的な確保のために、継続的な処遇改善に努める必要があります。				
・課題に対する改善点 研修内容について、事前に法人から要望を聞いたことで、効果的な研修を行うことが出来ました。				・取組 引き続き、支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に努めます。				

学童クラブの充実		主管課：教育総務課、学校施設課						
学童クラブ施設整備事業	児童数の増加に対応するため、令和6年4月に開校予定の市野谷小学校区及び南流山第二小学校区に学童クラブを創設します。また、ひよどり学童クラブの下水道設置工事を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
教育総務課	76,243		48,949		7,548	496,387	402,563	93,824
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
学童クラブの整備後の定員数(人)	3,240	3,240	3,748	待機児童数(3月末)(人)		-	-	-
学童クラブの整備後の施設数(施設)	37	37	39					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和6年度開所予定の学童クラブについて整備を行いました。(令和4年度から令和5年度の継続事業)				・現状 令和6年4月に開所予定の市野谷小学校区学童クラブ及び南流山第二小学校区学童クラブの整備が必要です。				
・評価 遅滞なく整備を進めることが出来ました。				・課題 学校施設の整備と同時にを行うことから、各機関と調整をとりながら計画的に進めて行く必要があります。				
・課題に対する改善点 引き続き、令和6年度の開所に向けて整備を進めていきます。				・取組 各種工事を遅滞なく終わらせるとともに、学童クラブに必要な備品等を整備し、令和6年度の開所を迎えられるよう整備を進めていきます。				

養育環境への配慮		主管課：子ども家庭課						
ひとり親家庭等生活向上事業	子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	56,751		53,810		9,573	57,086	0	57,086
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
利用者数(人)	115	122	130	学習の習慣が身についたと回答した児童数(%)		68.20	58.60	70.00
協力塾数(件)	65	64	70	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		77.30	82.80	80.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 協力塾の負担を軽減するために、報告書等の簡素化に努めました。				・現状 子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校2年生及び中学校3年生の子どもが学習塾に通えるよう支援します。令和4年度からは、夏期間及び冬期間についても、追加で支援します。				
・評価 報告書等の押印を省略するなど、簡素化に努めました。				・課題 利用できる子どもを増やすために、協力塾を増やします。				
・課題に対する改善点 利用できる子どもを増やすために、協定塾を増やします。				・取組 報告書等の簡素化に努めるとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けていきます。				

養育環境への配慮		主管課：子ども家庭課						
要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、子どもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	5,581		5,395		76,486	10,589	3,692	6,897
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
安全確認件数(%)	99	99	99	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		89	91	91
研修開催回数(回)	2	2	1					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるように専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行いました。				・現状 児童虐待の相談対応件数は、引き続き増加傾向にあります。地域や関係機関において、児童虐待の早期発見に関する認識は高まっています。				
・評価 専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、関係機関との情報共有・連携や研修会・個別支援会議を開催しました。				・課題 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し、子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。				
・課題に対する改善点 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。				・取組 子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるように専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図ります。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行います。				
青少年の健全育成の促進		主管課：生涯学習課						
青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。また、ネットパトロールを実施し、青少年がSNS等ネット上でのトラブルに巻き込まれないよう見守りをします。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
生涯学習課	5,253		5,202		3,843	5,411	0	5,411
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
相談件数(件)	57	55	-					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和4年度は、より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、通常の相談(月～金曜日の平日)に加え、休日に特別相談窓口(計6日)を開設しました。また、相談窓口を広く周知するため、相談室だより「はなみずき」を新たに発行しました。				・現状 休日に特別相談窓口を開設するなど、新たな取り組みを行いました。相談件数の増加には結びつかなかったのが現状です。				
・評価 休日に特別相談窓口を開設し、相談機会の拡充に努めましたが、相談件数には結び付きませんでした。				・課題 より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じて、適切な相談窓口への案内ができるよう、関係機関との連携を強化する必要があります。				
・課題に対する改善点 市民に気軽に利用していただけるよう、相談室だより「はなみずき」や青少年指導センターだよりなどに青少年相談に関する記事を掲載し、相談窓口の更なる周知に努めます。				・取組 引き続き、学校や他機関との連携を図ることで、きめ細やかな対応に努めます。また、広報ながれやま、市ホームページに加え、相談室だよりなどを積極的に活用し、通常の相談や特別相談窓口の周知に努めます。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	実施なし	71.0 64.0	67.0 58.3	%	
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒 5月1日時点	11,775 4,605	12,356 4,750	12,979 4,915	人	-
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）（2月（※令和4年度は3月集計））※小学校、中学校	3,037 315	5,765 594	4,954 475	件	↓

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 6月、11月の「いじめ認知アンケート」で認知するだけでなく、いじめを未然に防ぐために、いじめについての特別授業を小学校、中学校で行いました。全国学力・学習状況調査の分析方法と活用方法、効果的なICT教育について、教務主任研修会を行い授業改善につなげました。</p> <p>・評価 いじめは、根の小さいうちに対応する必要があることから、小さなトラブルでもいじめの根源と考え、積極的に認知を行い、トラブル解消に努めてきました。全国学力・学習状況調査の分析を行い、分析結果を授業改善に活用することができました。</p> <p>・改善点 今後も引き続き、積極的にいじめ認知を行うとともに、重大な事案とならないよう迅速に対応し、早期発見・早期解決に努めていく必要があります。</p>	<p>・現状 児童数の増加といじめの積極的な認知に伴い、近年のいじめ認知件数は以前に比べ高い水準にあります。全国学力・学習状況調査については、千葉県総合教育センターが開発している分析ツールを全校が活用し、分析結果をもとに授業改善に取り組むように周知しています。</p> <p>・課題 積極的にいじめ認知を行い、早期発見、早期解決につなげることが課題です。全国学力・学習状況調査については、記述式における無解答率が高いことが課題であるため、無解答率や誤答率の高い問題に着目して分析を行う必要があります。</p> <p>・取組内容 6月、11月の「いじめ認知アンケート」で認知するだけでなく、いじめを未然に防ぐために、いじめについての特別授業及び教員への研修を小学校、中学校で行います。全国学力・学習状況調査については、教務主任・研究主任を対象に分析や活用に関する研修会を開催し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善につなげます。</p>

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校英語活動推進事業	R4当初予算							R4決算見込		R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源	
担当課	65,039							64,355		0		65,415		0		65,415	
指導課	65,039							64,355		0		65,415		0		65,415	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標				R3実績	R4実績	R5目標							
小学校ALT配置数(人)	9	10	10	英語教育実施状況調査(文部科学省)におけるALT等の活用状況(%)				98	98	98							
英語活動指導員の指導時間の合計(時間)	10,437	11,760	11,830														
令和4年度の取組みと評価・改善点										令和5年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 外国語担当者及び英語活動指導員、外国語指導助手(ALT)の研修を年複数回実施しました。</p> <p>・評価 英語活動指導員とALTが学級担任とよく連携し、工夫を凝らした授業、協働学習と個別最適化の学びの実現に向けて取り組みました。</p> <p>・課題に対する改善点 学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語活動とICTの活用を踏まえた研修を充実させます。</p>										<p>・現状 毎回の授業の型が定まってきて、どの学校も授業の質が高まってきました。</p> <p>・課題 授業の指導目標は提示されていますが、評価を行うことができていない。</p> <p>・取組 指導と評価を一体化するために、授業訪問や研修会を通じて、課題を改善していきます。</p>							

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校教育指導運営事業	R4当初予算			R4決算見込		R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源	
担当課	20,698			20,429		21,754		27,609		0		27,609	
指導課	20,698			20,429		21,754		27,609		0		27,609	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標				R3実績	R4実績	R5目標			
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.50	1.50	1.40	小学校図書貸出冊数(11月)(冊)				25,400	30,000	30,500			
令和4年度の取組みと評価・改善点										令和5年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 学校図書館司書リーダーにより、経験の浅い司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、児童の読書活動を推進しました。</p> <p>・評価 学校図書館司書リーダーが新任司書を巡回し、指導・助言を行い、スキルアップを図りました。専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、児童の読書活動を推進しました。</p> <p>・課題に対する改善点 学校図書館リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。1校に1人の司書の配置に向け、研修していきます。</p>										<p>・現状 学校図書館司書の配置により、専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、児童の読書活動を推進しています。</p> <p>・課題 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の実質、学校図書館司書の増員を図る必要があります。</p> <p>・取組 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指します。探究的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。</p>			

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

中学校 A L T 配置事業	外国語指導助手（A L T）を中学校全校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
指導課	40,319		40,623		0	41,256	0	41,256	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
中学校 A L T 配置数(人)	9	9	10	英語教育実施状況調査(文部科学省)における A L T 等の活用状況(%)			61	62	70
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>学習指導要領における評価方法、ICTの活用における研修を充実させました。</p>				<p>・現状</p> <p>タブレット端末の使用頻度が高まってきました。一方で、どこでICTを活用すると効果的なのか、生徒が英語を使う場面に適しているかを考える必要があります。</p>					
<p>・評価</p> <p>タブレット端末やデジタル教科書を活用した授業展開が増えてきました。</p>				<p>・課題</p> <p>英語を活用するという視点において、目的・場面・状況の設定をすること、ICTの活用のタイミングはどこがよいのか、その評価をどのようにするのかという課題があります。</p>					
<p>・課題に対する改善点</p> <p>生きた英語に触れるとともに、実際に英語を活用するという観点から、英語でコミュニケーションを行う機会の充実を図ります。</p>				<p>・取組</p> <p>英語を聞く、話すという取り組みを強化するとともに、授業訪問や研修会で改善をしていきたいです。</p>					

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探求的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
指導課	14,995		14,530		14,068	17,741	0	17,741	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.80	1.70	1.40	中学校図書館貸出冊数(11月)(冊)			19,468	25,000	26,000
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>学校図書館司書リーダーにより、経験の浅い学校図書館司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、生徒の読書活動を推進しました。</p>				<p>・現状</p> <p>学校図書館司書の配置により、専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、生徒の読書活動を推進しています。</p>					
<p>・評価</p> <p>学校図書館司書リーダーが新任司書を巡回し、指導・助言を行い、スキルアップを図りました。専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、生徒の読書活動を推進しました。</p>				<p>・課題</p> <p>さらなる読書推進や探求的な学習の実現を目指し、図書の実質、学校図書館司書の増員を図る必要があります。</p>					
<p>・課題に対する改善点</p> <p>学校図書館司書リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。</p>				<p>・取組</p> <p>学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指します。探求的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。</p>					

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校(小学校2校または1校、中学校1校)とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
指導課	7,947		6,961		5,106	8,283	4,988	3,295	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
市内各中学校区本部設置数(校)	9	9	10	地域による学校支援年間参加延べ人数(1月まで)(人)			51,603	51,705	65,000
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>学校支援コーディネーターのサポートとコミュニティ・スクール導入の推進に取り組んでいきます。</p>				<p>・現状</p> <p>学校支援コーディネーターが各校で積極的な取り組みを見せています。コーディネーター同士の情報共有もよく行われています。</p>					
<p>・評価</p> <p>学校支援コーディネーターの尽力で、地域の人材を活用し、開かれた学校作りを進めています。</p>				<p>・課題</p> <p>コミュニティ・スクールを新たに導入すること、その運営方法を確立していくことです。</p>					
<p>・課題に対する改善点</p> <p>令和4年度は新たに2中学校区でコミュニティ・スクールの導入が予定されているので、協働活動との連携を推進していくことが課題です。</p>				<p>・取組</p> <p>学校訪問や研修会を通して、各校の実態を把握して、さらなる改善に努めていきます。</p>					

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

学校水泳指導等支援事業	児童の体育の授業における水泳指導について、業務委託することによりプール施設、指導業務、移動手段を確保し、円滑な水泳指導に資することを目的として実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	0		5,039		12,764	22,470	0	22,470
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
民間委託実施校数(校)	-	1	6	一人当たりの実施回数(回)		-	3	3
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 モデル校として10月に1校実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 昨年度1校で実施したことが良い評価であったため、今年度は新たに5校追加して、6校で実施することとした。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 児童からは、水泳授業がより充実した内容であったと高い評価を得ました。教職員からは、施設管理面の運営負担が軽減されました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 令和6年度以降の事業拡大を見据えて、より多くの委託業者の開拓が必要であると考えます。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 				<ul style="list-style-type: none"> 取組 学校施設課と連携し、できる限り学校から近い場所で実施可能な委託業者を増加させていきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

ICT学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	453,077		722,612		12,764	490,354	87,010	403,344
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	16,995	17,995	18,950	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		1	1	1
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 昨年度までに引き続き、オンライン配信や学習指導において活用を行っていました。今後も1人1台端末の積極的な活用を進めていきます。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 学習内容に即して積極的に活用できています。今後も積極的な活用と、発展的活用を進めていきます。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 1人1台端末を積極的に活用した学習指導を実施することができました。また、プログラミング教育のために活用をすることもできました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 教科に応じた適切な使い方(事例)を蓄積していきます。プログラミング教育についても、事例を蓄積し流山独自のカリキュラムを作成していきます。タブレット端末導入から4年目となり、メーカーの提示するバッテリー耐用年数にさしかかってきました。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 同時に多数のタブレット端末を使用すると通信状況が滞り、教職員の校務や児童生徒の学習に支障が生じます。これについては、GIGAスクール構想業務委託事業の構内LANの増設により対応予定です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 今年度は学習指導において、発展的活用を進めていきます。さらに、ソフトのバージョンアップがあった際は、研修を活用し随時各学校に周知して、利活用を高めていきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校校舎等改修事業	小学校施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している部分を改修し、教育環境の向上を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	106,666		647,275		6,382	107,559	107,559	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
長崎小学校エレベーター増設に係る設計業務の進捗率(%)	-	30	100	長崎小学校エレベーター整備基数(1基)		-	-	1
				ロッカー改修率(%)		-	-	12.80
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 経年劣化に対応した校舎等の改修に加え、おおたかの森小学校における火災復旧及び屋内運動場への空調機設置に着手しました。また、長崎小学校へのエレベーター増設によるバリアフリー化促進への設計業務を進めました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 長崎小学校へのエレベーター増築、教室ロッカーの改修及び設置工事を実施します。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 火災復旧につきましては年度内での対応を終えましたが、屋内運動場への空調機設置につきましては、年度を越えた対応となりました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 学校運営に支障がないよう、工事を進める必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 屋内運動場への空調機設置につきましては、学校運営しながらの施工となるため学校との十分な調整が必要です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 発注者、施工者及び学校との協議により各種調整を実施します。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

中学校校舎等改修事業	中学校施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している部分を改修し、教育環境の向上を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	78,760		380,944		6,382	99,969	99,969	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
東深井中学校エレベーター増設に係る設計業務の進捗率(%)	-	30	100	東深井中学校エレベーター整備基数(1基)		-	-	1
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>経年劣化に対応した校舎等の改修に加え、屋内運動場への空調機設置に着手しました。また、東深井中学校へのエレベーター増設によるバリアフリー化促進への設計業務を進めました。</p>				<p>・現状</p> <p>東深井中学校へのエレベーター増築を実施します。</p>				
<p>・評価</p> <p>屋内運動場への空調機設置につきましては、年度を越えた対応となりました。</p>				<p>・課題</p> <p>学校運営に支障がないよう、工事を進める必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>屋内運動場への空調機設置につきましては、学校運営しながらの施工となるため、学校との十分な調整が必要です。</p>				<p>・取組</p> <p>発注者、施工者及び学校との協議により、各種調整を実施します。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

給食室等改修事業	学校給食施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している部分を改修し、調理環境の向上を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	132,120		454,509		15,955	24,221	24,221	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
給食室への空調設備設置学校数	2	10	-	長崎小学校給食室建替え工事の進捗率(%)		5	100	-
				給食室への空調設備整備率(%)		47	100	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>全給食室及び調理場への空調機設置工事及び、長崎小学校給食室の建替え工事を完了させました。</p>				<p>・現状</p> <p>給水給湯管の改修工事及び給排気ファン、給湯器、小荷物昇降機、グリストラップの更新工事を実施します。</p>				
<p>・評価</p> <p>長崎小学校給食室建替えについて、令和5年度から供用開始することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>給食室の運営に支障がないよう、工事を進める必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>施工中に発生する不測の事態への冷静な判断が求められます。</p>				<p>・取組</p> <p>発注者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施します。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

新設小学校(おたかの森地区)建設事業	おたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて、当該地区に市野谷小学校の建設を進めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	1,297,102		603,600		25,528	3,730,076	3,730,076	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				設計業務の進捗率(%)		37	100	-
				工事の進捗率(%)		-	11.50	100.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>設計業務委託者と協議をし、進捗状況を管理しました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和6年4月開校に向け、工事を進めています。</p>				
<p>・評価</p> <p>工事発注にあたり、実施設計を遅滞なく進めることができました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和6年4月開校に間に合うよう工事を実施します。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。</p>				<p>・取組</p> <p>工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行います。</p>				

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部	
南流山中学校移転事業		南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を東洋学園大学旧校舎へ移転して、令和6年4月から中学校として供用するための整備を進めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
学校施設課	369,095		238,459		15,149	2,788,758	2,788,758	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標	
				設計業務の進捗率(%)		26.76	100.00	-	
				工事の進捗率(%)		-	0.29	100.00	
令和4年度の実績と評価・改善点					令和5年度の実績・課題・取組み				
・取組 設計業務委託者と協議し、進捗状況を管理しました。					・現状 大学校として供用されていた施設を中学校仕様へ改造する必要があります。				
・評価 工事発注にあたり、実施設計を遅滞なく進めることができました。					・課題 令和6年4月開校に間に合うよう工事を実施します。				
・課題に対する改善点 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。					・取組 工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行います。				

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部	
新設小学校(南流山地区)改修事業		南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修して、令和6年4月から南流山第二小学校として開校するための整備を進めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
学校施設課	16,991		11,011		6,382	145,953	145,953	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標	
				設計業務の進捗率(%)		-	100	-	
				改修工事の進捗率(%)		-	-	100	
令和4年度の実績と評価・改善点					令和5年度の実績・課題・取組み				
・取組 設計業務が完了し、工事の発注を行いました。					・現状 改修工事を施工しています。				
・評価 計画通り工事発注することができました。					・課題 中学校を運営しながらの施工となるため、生徒・教職員の安全の担保が重要です。				
・課題に対する改善点 設計業務委託者との連絡及び調整を密に行い、よりスケジュールに余裕をもつことが必要です。					・取組 作業エリアには遮音性のある仮間仕切りを設置し、生徒・教職員と工事関係者が交錯しないよう努めます。				

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部	
担任サポート教員配置事業		学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
学校教育課	49,669		37,746		3,832	27,571	0	27,571	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標	
担任サポート教員配置数(人)	12	12	9						
令和4年度の実績と評価・改善点					令和5年度の実績・課題・取組み				
・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めました。					・現状 令和4年度当初、令和5年度は12名の配置を予定しておりましたが、児童生徒数が推計値より少なかったため、9名の配置となりました。				
・評価 適正な配置人数である12名を確保しました。					・課題 令和7年度までに施設整備を進め、国の学級基準の35人学級を実施していきます。				
・課題に対する改善点 当初16名の配置を予定しておりましたが、児童生徒数が推計値より少なかったため4名の配置が必要なくなりました。					・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めます。				

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部		
南流山中学校移転先用地・建物買取事業		南流山中学校の移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源		
学校施設課	582,384		575,107		6,382	901,727	901,727	0		
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標		
				用地取得率(%)		-	-	-		
				建物取得率(%)		31.33	59.00	100.00		
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理しました。					・現状 中学校移転のため、建物を取得します。					
・評価 財産活用課と情報を共有し進めることができました。					・課題 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。					
・課題に対する改善点 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。					・取組 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。					

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部		
新設小学校(南流山地区)整備事業		南流山地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う。また、開校後に新たに必要となる消耗品についても整備を行います。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源		
教育総務課	0		0		3,214	23,373	23,373	0		
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標		
入札件数(件)	-	-	8	消耗品の充実割合(%)		-	-	100		
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・現状 南流山地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。					
・評価 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・課題 南流山地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を整備する必要があります。					
・課題に対する改善点 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・取組 南流山地区に新規開校する小学校の開校時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。					

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部		
新設小学校(おおたかの森地区)整備事業		おおたかの森地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う。また、開校後に新たに必要となる消耗品についても整備を行います。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源		
教育総務課	0		0		3,214	23,261	23,261	0		
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標		
入札件数(件)	-	-	8	消耗品の充実割合(%)		-	-	100		
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・現状 おおたかの森地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。					
・評価 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・課題 おおたかの森地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う必要があります。					
・課題に対する改善点 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・取組 おおたかの森地区に新規開校する小学校の開校時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。					

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

南流山中学校移転整備事業	東洋学園大学旧校舎に移転される南流山中学校の供用開始前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う。また、供用開始後に新たに必要となる消耗品についても整備を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
教育総務課	0		0		3,214	18,119	18,119	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
入札件数(件)	-	-	8	消耗品の充実割合(%)		-	-	100
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和4年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・現状</p> <p>東洋学園大学旧校舎に移転される南流山中学校の供用開始前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。</p>				
<p>・評価</p> <p>令和4年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・課題</p> <p>東洋学園大学旧校舎に移転される南流山中学校の供用開始前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>令和4年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・取組</p> <p>東洋学園大学旧校舎に移転される南流山中学校の供用開始時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校校舎等リニューアル事業	老朽化の進んだ小学校をリニューアルするもので、令和8年度の完了を目指します。(江戸川台小学校)							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	0		0		6,382	37,983	37,983	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				設計業務の進捗率(%)		-	-	100
				江戸川台小学校リニューアルの進捗率(%)		-	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>事業化に向けて関係機関との調整を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>江戸川台小学校のリニューアル設計を実施しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>令和5年度からの新規事業です。</p>				<p>・課題</p> <p>改修が必要な部位や設備等の整理が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>令和5年度からの新規事業です。</p>				<p>・取組</p> <p>現況調査を実施し、改修内容の検討を行います。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

子ども専用いじめホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」を活用し、相談環境の充実に努めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	7,330		7,934		4,433	8,173	0	8,173
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
「子ども専用いじめホットライン」の相談数(件)	15	17	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		84.9	90.9	100.0
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	29	52	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		93.9	95.6	100.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>子ども専用いじめホットライン相談窓口周知のために、連絡先が記載されたカードとリーフレットを市内全小中学生に配布しました。中学生は、いじめ報告相談アプリも加え、悩みの早期発見と早期対応に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>生涯学習センター内に3名の相談員が常駐し、相談を受けています。コロナ禍により、相談のニーズも多様化しており、いじめ相談だけでなく、子どもの悩みごとの相談に幅広く対応しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>コロナ禍により、子どもたちの不安や悩みの内容は変化し、相談事業の必要性が高まっていると捉えています。引き続き相談窓口の周知に努めていきます。</p>				<p>・課題</p> <p>コロナ禍により人間関係が希薄化し、相談も多様化しています。そこで、いじめだけに特化せず、幅広く相談を受ける必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>いじめ相談窓口の更なる周知徹底を図り、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるよう努めました。</p>				<p>・取組</p> <p>令和4年度より名称を「小中学生なやみホットライン」に変更し、子ども達の悩みの相談を幅広く受ける体制を構築しています。令和5年度もひきつづき、ポスターやリーフレットを作成して、子どもたちへの周知を図っていきます。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

いじめ等防止対策推進事業		いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにハイパーＱＵ（学級集団アセスメント）検査を実施します。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	23,240	24,181		8,689	30,763	0	30,763
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
小学校いじめ認知件数(2月(R4年度は3月集計))(件)	5,765	4,954		- 小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	84.9	90.9	100.0
中学校いじめ認知件数(2月(R4年度は3月集計))(件)	594	475		- 中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	93.9	95.6	100.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 スクールロイヤー・ソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携しながら、いじめや虐待などに迅速に対応しました。				・現状 スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、指導主事に加え、令和5年度から新たに生活指導アドバイザーをいじめ防止相談対策室に配置し、学校や関係機関と連携し、いじめ防止、児童生徒の問題行動、虐待等へ対応していきます。			
・評価 児童生徒向けのいじめ授業や教員向けのいじめ防止授業を実施するなど、いじめに対する理解を深めました。				・課題 いじめの未然防止、早期発見・早期解決につなげるためには、児童生徒への指導と、教員による適切な対応が必要です。			
・課題に対する改善点 小学校、中学校において、スクールロイヤーによる訪問授業及び教員研修を計画的に実施しました。				・取組 スクールロイヤー等によるいじめ防止に向けた教員への研修を行います。また、保護者及び児童へのいじめ防止対策を継続して実施します。			

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

学校給食会計化事業		小中学校の学校給食費を学校ごとに管理する私会計方式から、市の予算に計上して管理、運用を行う公会計方式に切り替え、学校給食費会計の透明性、公平性の確保及び学校職員の負担軽減を図ります。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校教育課	979,827	1,040,601		14,875	1,012,078	950,411	61,667
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 新型コロナウイルス感染症等による物価高騰の影響があり、市独自に物価高騰分を負担した他、県事業と連携した第3子給食費無料化などに取組みました。				・現状 現在、納付率は約99%と極めて高い状態です。			
・評価 物価高騰による子育て世帯の負担軽減に柔軟に取組みました。				・課題 日中、多忙な保護者等の支払いに係る利便性の向上を図る必要があります。			
・課題に対する改善点 公平な負担となるよう、未納となっている保護者等の理解が得られるよう努める必要があります。				・取組 コンビニエンスストアでの納付を可能とする運用変更を行いました。			

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

学校サポート看護師派遣事業		小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、市域を4地区に分け、各地区の小学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置します。また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため、2名の看護師を配置します。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校教育課	23,146	20,450		4,880	22,737	890	21,847
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
学校サポート看護師人数(人)	10	10	11	医療的ケア児の対応時間(時間)	2,245.25	1,614.00	2,350.00
医療的ケア児の人数(人)	5	6	6				
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 医療的ケア児についての情報や対応等について、サポート看護師が共有し、研鑽を積めるよう、連絡協議会や研修会を開催しました。				・現状 障害のある子どもの教育的ニーズに対し、多様な関係者が多角的、客観的に参画しながら就学を始めとする必要な支援に取り組む必要があります。			
・評価 医療的ケア児が安心・安全に就学できる環境を確保できました。				・課題 様々な悩みを抱えた医療的ケア児について、個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるような教育体制の拡充に努めます。			
・課題に対する改善点 短時間利用等、医療的ケア児個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるよう、様々な関係者の協力のもと、教育体制の拡充に努めました。				・取組 短時間ケアにも対応できるよう環境整備に努め、保護者負担軽減をはかります。			